



5月 町屋幼稚園だより

令和5年4月28日

荒川区立町屋幼稚園

園長 高田 大

経験を広げる

園長 高田 大

子どもたちは経験を通して様々なことを無自覚のうちに学んでいます。そこで幼稚園では、子どもたちの経験の幅が広がるよう環境を工夫したり、新たな出会いの機会を意図的に設けたりしています。

4月24日には年長いるか組が、第七峡田小学校にある「ななはけラボ」で小学校5年生と交流活動を行いました。一緒に遊んだり絵をかいいたり、絵本の読み聞かせをしてもらったりして過ごしました。年間を通して交流を重ねていくことで小学生、そして小学校生活への憧れの気持ちが育まれ、来年度にそれぞれ小学1年生と6年生となった時にこの経験がきっと生きてくると考えます。

今年度から始まったお弁当給食も、子どもたちの経験を広げる一つの大切な機会となっています。以前の園だより（令和4年6月号）で、「幼児期は成長の過程として食べ物の好き嫌いが生じやすい時期」だということに触れましたが、弁当給食は好き嫌いをなくすのに一役買ってくれます。見たことがない献立や食材でも、口にしてみたらおいしかった、そんな経験を繰り返すことが、好き嫌いの解消はもとより、なんでも試してみようとするチャレンジ精神にもつながるのではないかと期待しています。

また5月12日に予定している荒川自然公園への遠足では、現地で南千住第三幼稚園のお友達と合流し、一緒に遊んだり合同で活動したりすることを計画しています（子どもたちにはまだ、内緒です）。これまでも異年齢交流には力を入れてきていましたが、違う園に通っている同年代のお友達との交流は初めての試みです。

このように新たな取組も取り入れながら、子どもたちの学びを豊かなものにできるよう教職員一同努めてまいります。ご協力をよろしくお願いたします。

《今月のねらい》

【年 中】 ○ 自分の好きな遊びややりたいことを十分に楽しむ。

○ 身近な自然や生き物に関心をもったり、触れたりする。

【年 長】 ○ 自分の思いや考えを伝えようとしたり、友達の思いを聞いたりして、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

○ 自然に親しみながら、友達や異年齢児と一緒に遊ぶことを楽しむ。



「今日のお昼はなんだろう！」

今年度より始まった、お弁当給食。子どもたちは毎日のメニューを楽しみにしています。弁当箱はみんなお揃い！中身も同じ！ということも嬉しい様子。

「ごはんがあったかいね。」「おいしい！」とパクパク食べている子どもたち。中には、少し苦手なものがあり、まだ給食に慣れていない子もいますが、少しずつ食べてみようとする姿も見られてきています。また、初めて食べてみただけでも美味しい！と発見する子もいるようです。先日の保護者向けの試食会では、参加していただいた保護者の方々から「おいしい。」「味付けが参考になった。」などと好評でした。まだ始まったばかりのお弁当給食。毎日完食する子や、少しずつ頑張って食べる子など、様々な姿が見られていますが、引き続き皆で楽しく食べられるようにしたいと思います。



＜幼稚園の食後の歯磨きを再開します＞

コロナ禍において休止していましたが、食後の歯磨きを再開したいと思います。担任よりお声かけしましたら、歯ブラシを持ってきてください。幼稚園では、歯磨きのしかたや扱い方など、安全面にも気を付けて指導していきます。ご家庭でも、歯磨きについて一緒にお話をしてください。